



心澄めば 怒濤ぞ聞こゆ 夏至の雨 ~白田亜浪~

校長 重信 廣行

1 台風6号の接近と、当たり前の日常への感謝

先日、台風6号が接近し、面縄の海もすさまじい海鳴りを響かせていました。近年稀に見るほどの強い台風の接近に、私自身、子供の頃の記憶が鮮明に蘇るほどでした。台風は通過してしまえば平穏が訪れるものですが、今回は地域全体で停電が発生しました。短時間であれば辛抱もできますが、2日間にわたる停電は心身ともにこたえるものとなりました。照明が付かない、エアコンや扇風機が使えない蒸し暑さ、給湯器が動かない不便さ、そして冷蔵庫の停止や洗濯機が使えない状況に直面し、頭では理解していても私たちが普段どれだけ便利な生活を送っているかを身に染みて実感させられました。しかし、その一方で、この逆境だからこそ気づけた有り難さもありました。電気が復旧した際、この強風が吹き荒れる危険な状況の中で、私たちのために懸命に働いてくださっている方々がいることに、深い感謝の念が湧き上がりました。また、電気が止まってもガスが使えたため、鍋で炊いたご飯の驚くほどの美味しさに気づくといった、小さな喜びもありました。台風が過ぎ去った後、面縄港へ散歩に出かけると、砂浜は激しい波で洗われて美しく整っていたものの、港の奥深くまで波が打ち寄せた跡が残っていました。さらに、浜にあった大きな石が港にまで打ち上げられているのを目にし、改めて波の強さと、人間は決して自然にはかなわないという現実を再認識させられました。幸いにも、3日の朝に登校してきた子どもたちに確認したところ、大きな被害はなかったようで胸を撫で下ろしております。

2 津波注意報発令に伴う、緊迫の避難対応

台風の記憶も新しい中、8日の朝にはスマートフォンの警報が一斉に鳴り響きました。県から出された「津波注意報」です。当初は詳細が不明でしたが、命を守ることを最優先に考え、直ちに避難行動を開始しました。高台までの一次避難を完了させた後、報道を通じて、フィリピン近海でマグニチュード8.2の巨大地震が発生したこと、それに伴い津波注意報が発令され、1メートルの津波が11時30分に到達予定であることを把握しました。この情報をすぐさま職員および児童・園児に共有し、今後の状況変化や新情報によっては、さらに高い場所への避難もあり得ることを周知しました。その後、いったん学校へ戻り、授業を再開いたしました。今回の避難において非常に心強かったのは、小学校の全児童、そして幼稚園の園児にいたるまで、普段の避難訓練の時以上に真剣な表情で、緊張感を持って迅速に避難できていたことです。子どもたちの防災意識の高さと、規律ある行動に深く感心しました。幸いにもその後は津波についての危険な情報が入ることもなく、普段通りの落ち着いた学校(園)生活を過ごすことができました。

自然災害はいつどのようにやってくるか分かりません。今回の台風と津波注意報を通じて、日頃からの備えと、お互いを思いやる心の大切さを改めて学びました。今後とも、子どもたちの安全を第一に考えた学校運営に努めてまいります。ご家庭におかれましても、ぜひこの機会に防災について話し合ってみてください。

6月後半・7月の行事予定

6月17日(水) 内科検診(1~4年)
面縄ぐんぐんデー
18日(木) 校外生活指導連絡協議会
19日(金) 学校運営協議会
23日(火) おもなわ読書の日
環境学習(5年生)
25日(木) PTA評議員会
26日(金) 環境学習(5年生)

7月 1日(水) 授業参観・学級PTA
人権教室(5・6年)
2日(木) 租税教室(6年)
はこぶっく来校
7日(火) 支援学級交流学習会
11日(土) セタ読書会
15日(水) いのちの授業
(5・6年生)
17日(金) 1学期終業式
23日(木) おもなわ読書の日

体験を通して～宿泊学習(5年生)～

5年生の子どもたちが、6月10日(水)～11日(木)の1泊2日で、宿泊学習に行きました。台風の影響で一週間延期になったり、プログラムを変更したり、いろいろと大変な中での実施になりましたが、子どもたちは、それぞれに自分の役割をしっかりと果たして頑張っていました。普段とは全く違う環境の中で、家族と離れ、クラスメイトと過ごす時間は、子どもたちを大きく成長させてくれたように感じました。



また、今年度の宿泊学習では、世界自然遺産に登録されている徳之島の豊かな自然に直接触れ、学ぶ機会を多く持つことができました。自然とは、美しく恩恵を与えてくれるものではありますが、一方で厳しく、自分たちの思うようにはならないものであることも、実感として学ぶことができたのではないかと思います。